

つみたてNISAとiDeCoの

運用期間中にどんなアドバイスを 行えばいいか!?

菱田雅生

ライフアセットコンサルティング株式会社代表
CFP®



すでにつみたてNISAやiDeCo

を利用して老後資金づくりを始めているお客様にも、状況に応じ、その内容の見直しをアドバイスしていく必要がある。どんなときに、どんな見直しが必要になるのか。その着眼点を見ていこう。

● 老後資金づくりでは、つみたてNISAやiDeCoだけでなく、その他の全財産を含めたポートフォリオ運用を考えていくことが重要である。

お客様が現在保有している全財産が、国内外（新興国を含む）の

債券、株式、不動産（REIT）、コモディティ（金など）といった

様々な資産に幅広く分散されているなら、無難な運用を目指すポートフォリオは完成

している。積立の

ポートフォリオも

分散投資が行われ

ているなら、それ

ほど頻繁に見直す

必要はない。

逆に、まだ保有

していない資産が

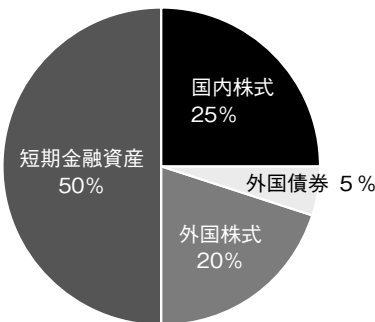
ある状態なら、保

有資産の一部を売

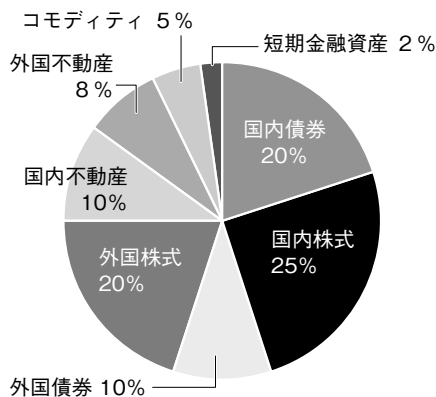
却して、未保有の資産を購入する

ようなポートフォリオの見直しを行うべきである。それと同時に、積み立てている掛金のポートフォ

▼幅広く分散されていない
ポートフォリオ例



▼幅広く資産に分散投資できている
ポートフォリオ例



※短期金融資産は現金や預金に相当するもの。

リオもチェックし、資産配分を見直すべきだろう（図表参照）。
積立内容を見直すべき
5つのタイミング

幅広く分散投資ができていながら頻繁に見直す必要はないが、以下の5つの事態のいずれかが起きた場合は、見直す必要性が高まっていることをお客様に伝えたい。

① 家計の収支状況の変化

収入減や教育費の負担増などで